

静岡市食の安心・安全アクションプラン 令和３年度12月末時点の実績及び令和4年度実施方針

【評価の基準】

S：指標を100%達成し、かつ期待を上回るような成果があったとき。

A：定量的な指標の場合は指標に対して80%以上達成したとき。定量的な指標以外の場合は指標の内容を実施できたとき。

B：定量的な指標の場合は指標に対して50%以上80%未満達成したとき。定量的な指標以外の場合は指標の内容を一部削除・中止して実施したとき。

C：定量的な指標の場合は指標に対して50%未満達成したとき。定量的な指標以外の場合は事業の未実施、廃止または休止をしたとき。

※事業番号36および39は事業廃止のため欠番

【実施方針】

充実：事業を充実や発展させる予定のもの

継続：事業をそのまま実施する予定のもの

見直し：事業を縮小または方法改善する予定のもの

廃止：事業を廃止する予定のもの

			事業名	事業内容	対象年代					担当課	R 3 年度指標	R3年度実績 (R3年12月末時 点)	R3年度実績評価 (R3年度末見込 み)	実績及び評価への コメント	R4年度実施方針	実施方針への コメント	その他
					未就 学児	小・中 学生	学生 (小・中 除く)	成人	その 他								
食 の 安 心 ・ 安 全 に 関 する 情 報 の 提 供 、 公 開	生産・流通から消費に至る食の安心・安全に関する情報の収集に努め、提供、公開を推進します。	I－1 (1)	1 市内の食品衛生法違反措置状況について報道関係者への情報提供やホームページへの掲載	市内の食中毒や違反措置状況をホームページに掲載することにより、市民に注意喚起をします。				●		食品衛生課	被害拡大防止等のため公表する必要のある事件発生時、情報の更新を3日以内に行う	全ての事件について発生後3日以内に情報を更新した 事件数：2件	A		継続		
		I－1 (1)	2 事業者、消費者に対する食品や飲食危害に関する情報の提供	食品事業者に対しては、主に食品衛生協会を通じて、消費者に対しては各種メディアやホームページ、パンフレットを通じて情報を提供し、広い啓発広報を行います。				●		食品衛生課	事件発生時、速やかに行う	・食協ニュース（10月1日号）に「ノロウイルスによる食中毒の予防に関する記事を掲載 ・ノロウイルスによる食中毒予防パンフレットを掲載	A		継続		
		I－1 (1)	3 食品表示に関するパンフレットの配布等、情報の提供	食品表示に関するパンフレットを配布します。				●		生活安心安全課	講座で、食品表示に関するパンフレットの配布	講座で食品表示に関するパンフレットを配布した	A		継続		
		I－1 (1)	4 特集コーナーを利用したの関連図書の展示による知識の普及	関連図書の展示を行い、「食の安全」に関する知識を身につけてもらいます。	●	●	●	●		中央図書館	12館で実施	7館で実施済み。残り5館は3月末までに実施予定。	A		継続		
		I－1 (1)	5 図書館における「食の安全」に関する資料の収集・提供	「食の安全」関連図書を収集し、提供します。	●	●	●	●		中央図書館	300冊程度購入	95タイトル 241冊購入	A		継続		

【評価の基準】

S：指標を100%達成し、かつ期待を上回るような成果があったとき。
A：定量的な指標の場合は指標に対して80%以上達成したとき。定量的な指標以外の場合は指標の内容を実施できたとき。
B：定量的な指標の場合は指標に対して50%以上80%未満達成したとき。定量的な指標以外の場合は指標の内容を一部削除・中止して実施したとき。
C：定量的な指標の場合は指標に対して50%未満達成したとき。定量的な指標以外の場合は事業の未実施、廃止または休止をしたとき。

※事業番号36および39は事業廃止のため欠番

【実施方針】

充実：事業を充実や発展させる予定のもの
継続：事業をそのまま実施する予定のもの
見直し：事業を縮小または方法改善する予定のもの
廃止：事業を廃止する予定のもの

			事業名	事業内容	対象年代					担当課	R 3 年度指標	R3年度実績 (R3年12月末時点)	R3年度実績評価 (R3年度末見込み)	実績及び評価への コメント	R4年度実施方針	実施方針への コメント	その他
					未就学児	小・中学生	学生 (小・中除く)	成人	その他								
を推進します		I－1 (1)	6 食の安心・安全ホームページ「たべしずねっと」の運営	消費者を対象に、静岡市の食の安全や食育、地産地消に関する情報を発信するホームページ「たべしずねっと」を管理・運営します。また、食の安全や食品表示の情報、「たべしずねっと」の新着情報などを掲載したメールマガジンを発行します。		●	●	●		食品衛生課	事件発生時、情報の更新を3日以内に行う メールマガジンを12回以上発行	全ての事件について発生後3日以内に情報を更新した。事件数：2件 メールマガジン8回発行済み アクセス数：27781	A		継続		
	食の安心・安全に関する意見	I－2 (1)	7 消費者による意見交換会の実施	消費者と事業者による意見交換会を実施します。		●		●		生活安心安全課	1回実施	8/27に1回開催。5組12名の参加。事業者によるSDGsの取り組みなどの紹介	A	コロナ禍で開催が危ぶまれたが、オンラインに切り換えて実施できた。	継続		
		I－2 (1)	8 監視指導計画（案）の公表及び意見の募集	毎年度、食品の監視指導計画作成時に、ホームページなどで案を公表し、市民からの意見を募集します。				●		食品衛生課	次年度監視指導計画（案）作成時にパブリックコメントを募集する	パブリックコメントの募集は2月に実施予定	A		継続		
		I－2 (1)	9 静岡市食の安心・安全意見交換会の開催	「静岡市食の安心・安全アクションプラン」について、生産者、消費者、学識経験者等で構成された「食の安心・安全意見交換会委員」からご意見をいただき、プランの策定や進行管理の参考とします。					●意見交換会委員	食品衛生課	2回	1回実施 2月に第2回を実施予定	A		継続		

【評価の基準】

S：指標を100%達成し、かつ期待を上回るような成果があったとき。
A：定量的な指標の場合は指標に対して80%以上達成したとき。定量的な指標以外の場合は指標の内容を実施できたとき。
B：定量的な指標の場合は指標に対して50%以上80%未満達成したとき。定量的な指標以外の場合は指標の内容を一部削除・中止して実施したとき。
C：定量的な指標の場合は指標に対して50%未満達成したとき。定量的な指標以外の場合は事業の未実施、廃止または休止をしたとき。

※事業番号36および39は事業廃止のため欠番

【実施方針】

充実：事業を充実や発展させる予定のもの
継続：事業をそのまま実施する予定のもの
見直し：事業を縮小または方法改善する予定のもの
廃止：事業を廃止する予定のもの

			事業名	事業内容	対象年代					担当課	R 3 年度指標	R3年度実績 (R3年12月末時点)	R3年度実績評価 (R3年度末見込み)	実績及び評価への コメント	R4年度実施方針	実施方針への コメント	その他
					未就 学児	小・中 学生	学生 (小・中除く)	成人	その他								
大 換 を 推 進 し ま す 。	リスクコミュニケーションを開催し、食の安心・安全について意見交換を進めます	I－2 (2)	1 0 生涯学習施設等でのリスクコミュニケーションの開催	市民団体からの依頼や、生涯学習施設の企画により開催される市政出前講座等を利用し、市民に食の安全への理解を深めてもらい、リスクコミュニケーションを行います。				●		食品衛生課 生涯学習推進課 生活衛生課	申し込みに応じる 実施率90%以上	申し込みに応じる 実施率100% 1 回実施30人参加 食品の安全について興味を持つ成人が参加	A		継続		
		I－2 (2)	1 1 フレッシュマタニティ教室での食の安全講座開催	保健福祉センターで開催される妊婦教室の中で、食に関する講義と合わせて食品の安全性に関する時間を設け、リスクコミュニケーションを行います。					● 初産婦	各区健康支援課 食品衛生課	開催予定に対する 実施率90%以上	開催予定に対する 実施率100% 12回実施143人参加 初産の妊婦が参加	A		継続		
食 品 表 示 の 適 正 化	食品表示の監視指導を実施します	I－3 (1)	1 2 食品販売店、製造業者へ立ち入り時の表示検査	食品販売店、製造業者への立ち入り時に表示のチェックを行い、食品表示の適正化を推進します。					● 事業者	食品衛生課	随時実施	36件	B	コロナ禍における店舗立入時間を考慮し、立入の一部を中止した。なお、計上方法変更のため昨年度との違いが大きくなっています。	継続		
		I－3 (1)	1 3 食品表示の合同調査の実施	食品表示において、生活安心安全課、食品衛生課と、県の職員が合同で施設の立ち入り検査を行います。					● 事業者	食品衛生課 生活安心安全課	随時実施	政令市については、原則として調査には同行せず、調査において食品表示法に係る疑義情報を探知した場合は、衛生課から市へ当該情報を回付し、事業者に対する指導につなげることとする。	A		継続		

【評価の基準】

S：指標を100%達成し、かつ期待を上回るような成果があったとき。
A：定量的な指標の場合は指標に対して80%以上達成したとき。定量的な指標以外の場合は指標の内容を実施できたとき。
B：定量的な指標の場合は指標に対して50%以上80%未満達成したとき。定量的な指標以外の場合は指標の内容を一部削除・中止して実施したとき。
C：定量的な指標の場合は指標に対して50%未満達成したとき。定量的な指標以外の場合は事業の未実施、廃止または休止をしたとき。

※事業番号36および39は事業廃止のため欠番

【実施方針】

充実：事業を充実や発展させる予定のもの
継続：事業をそのまま実施する予定のもの
見直し：事業を縮小または方法改善する予定のもの
廃止：事業を廃止する予定のもの

			事業名	事業内容	対象年代					担当課	R 3 年度指標	R3年度実績 (R3年12月末時点)	R3年度実績評価 (R3年度末見込み)	実績及び評価への コメント	R4年度実施方針	実施方針への コメント	その他
					未就学児	小・中学生	学生 (小・中除く)	成人	その他								
を推進します		I－3 (1)	1 4 不審・疑問表示の調査と広告の改善指導	食品表示法、健康増進法に係る食品表示違反、薬機法に係る無承認無許可医薬品の発見の通報に対して必要に応じて調査を実施し、表示や広告などの改善、指導を実施します。					● 事業者	食品衛生課 生活安心安全課 生活衛生課	通報に対し、必要に応じ調査、指導を実施	4件	A		継続		
	食品表示制度に対する理解を促進します	I－3 (2)	1 5 食品表示制度についての消費者向け講習会の開催	食品表示制度や表示の見方、健康的な食生活への役立て方などをテーマとした講座を実施し、食品表示の正しい知識を身につけてもらいます。				●		食品衛生課	2回実施	8月開催予定の第1回はコロナ感染拡大のため中止。 3月に第2回を実施予定。	B		継続		
食の安全に関する教育、啓発を推進します	食品の安全に関する知識の普及に努めます	I－4 (1)	1 6 食生活改善推進員による地区活動	・乳幼児から高齢者までを対象に地域で食を通じた健康づくりを推進します。 ・地域の特徴にあわせた事業や統一テーマによる取り組みを実施します。	●	●	●	●		健康づくり推進課	地区自主事業の①実施事業80回以上 ②市民参加者1,000人以上	地区自主事業の①実施事業60回②市民参加者600人	A	9 地区で月に計10回程度の事業を開催し、1 回あたり10人程度の参加者がいるため、2 月末まで事業を開催予定から80回、800人と想定し、計画どおり実施できる見込み。	継続		
		I－4 (1)	1 7 食育普及啓発事業	静岡市食育推進計画に基づき、「食育月間」「食育の日」「街頭キャンペーン」等の普及活動を通じて、静岡市らしい食育を推進します。	●	●	●	●		健康づくり推進課	HP等での情報発信10回 食育の日等の庁内放送 13回 食育月間の展示（静岡・清水庁舎）2 回	HP等での情報発信2 回 食育の日等の庁内放送 10回 食育月間の展示（静岡・清水庁舎）2 回	A	HP等での情報発信については、簡単レシピ等の紹介について残り7回発信予定、庁内放送は1～3月で残り3 回実施予定のため、計画どおり実施できる見込み。	継続		

【評価の基準】

S：指標を100%達成し、かつ期待を上回るような成果があったとき。
A：定量的な指標の場合は指標に対して80%以上達成したとき。定量的な指標以外の場合は指標の内容を実施できたとき。
B：定量的な指標の場合は指標に対して50%以上80%未満達成したとき。定量的な指標以外の場合は指標の内容を一部削除・中止して実施したとき。
C：定量的な指標の場合は指標に対して50%未満達成したとき。定量的な指標以外の場合は事業の未実施、廃止または休止をしたとき。

※事業番号36および39は事業廃止のため欠番

【実施方針】

充実：事業を充実や発展させる予定のもの
継続：事業をそのまま実施する予定のもの
見直し：事業を縮小または方法改善する予定のもの
廃止：事業を廃止する予定のもの

			事業名	事業内容	対象年代					担当課	R 3 年度指標	R3年度実績 (R3年12月末時点)	R3年度実績評価 (R3年度末見込み)	実績及び評価への コメント	R4年度実施方針	実施方針への コメント	その他
					未就 学児	小・中 学生	学生 (小・中除く)	成人	その他								
		I－4 (1)	1 8 食育応援団事業	食育に関する知識や経験を持っている個人、団体、企業を「食育応援団」として登録し、食育に取り組む市民からの依頼内容に沿った応援団を紹介、市民に幅広く食育を推進していきます。	●	●	●	●		健康づくり 推進課	①食育応援団登録数30団体・個人 ②応援団の年間利用50回以上	①食育応援団登録数 26団体・個人 ②応援団の年間利用 31回	A	食育応援団登録数については現在、問い合わせ中の団体もあるため、引き続き募集についてPRしていく。応援団の利用については年度末まで13件の依頼があるため、計画どおり実施できる見込み。	継続		
		I－4 (1)	1 9 しずおかカラダにeat75	民間企業や大学等と連携し、まちぐるみで食を通じた健康づくりを進めるため、特に健康に無関心になりがちな若い世代に主体的に取り組む食育を推進していきます。正しい食生活を知り、将来の生活習慣病の予防等のため、大学生等若い世代による食育ワークショップを実施・周知し、市民の健康意識を高めます。			●	●	● 20代、30代の若い世代	健康づくり 推進課	民間事業者等と連携した食育教室の開催 高校生に向けた食育啓発まんがの作成及び配布 健康貯金スタートブック周知のためのQRカードの作成・配布	民間事業者と連携した食育教室は、高校生を対象に実施 高校生に向けた食育啓発まんがは作成中であり、2月末には配付できる予定 食育啓発まんがが周知のための内容に変更し、QRカードを作成中であり、年度内に配布する予定	A	民間事業者と連携し、常葉高校で調理実習を含む食育教室を12月に実施した。 高校生に向けた食育啓発まんが、QRカードについては、2月末までに作成・配布をする予定であり、計画どおり実施できる見込み。	充実	食育啓発まんがの学びから高校生を中心に簡単朝食レシピの募集を行い、今後作成するまんがやリーフレットにレシピを掲載し、子育て世代等、より多くの世代へ普及啓発していく予定。	

【評価の基準】

S：指標を100％達成し、かつ期待を上回るような成果があったとき。

A：定量的な指標の場合は指標に対して80％以上達成したとき。定量的な指標以外の場合は指標の内容を実施できたとき。

B：定量的な指標の場合は指標に対して50％以上80％未満達成したとき。定量的な指標以外の場合は指標の内容を一部削除・中止して実施したとき。

C：定量的な指標の場合は指標に対して50％未満達成したとき。定量的な指標以外の場合は事業の未実施、廃止または休止をしたとき。

※事業番号36および39は事業廃止のため欠番

【実施方針】

充実：事業を充実や発展させる予定のもの

継続：事業をそのまま実施する予定のもの

見直し：事業を縮小または方法改善する予定のもの

廃止：事業を廃止する予定のもの

			事業名	事業内容	対象年代					担当課	R 3 年度指標	R3年度実績 (R3年12月末時点)	R3年度実績評価 (R3年度末見込み)	実績及び評価への コメント	R4年度実施方針	実施方針への コメント	その他
					未就 学児	小・中 学生	学生 (小・中除く)	成人	その他								
		I－4 (1)	2 0 こども園の巡回、指導	各公立こども園を巡回し、食育事業、給食室内の衛生管理、事務などの支援を行います。	●					こども園課	120回	90回 こども園課栄養士が公立こども園(59園中55園)へ出向き厨房内・帳票類の確認をしている。園長や調理員から衛生面や食育について話を聞いている。大勢での食育活動は難しいが、マナーや姿勢、噛む事等基本的な食育の実施について指導した。	A		継続		
		I－4 (1)	2 1 食の安全教室の開催	市内小学校等において、食中毒、食品添加物等のテーマで授業を行います。		●				食品衛生課 環境保健研究所	申し込みに応じる 実施率90%以上	申し込みに応じる 実施率90%以上 6回実施 104人参加（市内小学生等）	A		継続		
		I－4 (1)	2 2 市内公立小中学校での「食に関する指導」の実施	児童生徒に食に関する正しい知識と望ましい食習慣が身につくように、公立小中学校で食に関する指導を実施します。		●				学校給食課	各学年 1 回以上	各学年 1 回以上実施校28.5%（123校中35校） ※学校からの中間報告より集計（R3.9月末時点）	A	食に関する指導実施予定表の報告状況より、年度内に各学年 1 回以上実施99.2%になる予定（123校中122校）	継続		
		I－4 (1)	2 3 食の安全に関する講座の開催	食品表示等、講座を開催します。			●	●	●	生活安心安全課	1回実施	11/22に開催。 42名の参加。 コロナ禍と食についての講座の実施	A	コロナ禍で開催が危ぶまれたが、開催日を変更して実施できた。	継続		

【評価の基準】

S：指標を100%達成し、かつ期待を上回るような成果があったとき。
A：定量的な指標の場合は指標に対して80%以上達成したとき。定量的な指標以外の場合は指標の内容を実施できたとき。
B：定量的な指標の場合は指標に対して50%以上80%未満達成したとき。定量的な指標以外の場合は指標の内容を一部削除・中止して実施したとき。
C：定量的な指標の場合は指標に対して50%未満達成したとき。定量的な指標以外の場合は事業の未実施、廃止または休止をしたとき。

※事業番号36および39は事業廃止のため欠番

【実施方針】

充実：事業を充実や発展させる予定のもの
継続：事業をそのまま実施する予定のもの
見直し：事業を縮小または方法改善する予定のもの
廃止：事業を廃止する予定のもの

			事業名	事業内容	対象年代					担当課	R 3 年度指標	R3年度実績 (R3年12月末時点)	R3年度実績評価 (R3年度末見込み)	実績及び評価への コメント	R4年度実施方針	実施方針への コメント	その他
					未就 学児	小・中 学生	学生 (小・中除く)	成人	その他								
		I－4 (1)	2 4 食品添加物や細菌などの検査に関する市民講座の開催	小学生等を対象とした食品添加物についての食の安全教室及び、大人を対象とした食中毒についての市政出前講座等の市民講座を開催します。		●				環境保健研究所	・食の安全教室開催依頼について100％実施。 ・市民講座開催依頼について100％実施し、実施後アンケートで満足度80％以上を得る。	・食品添加物についての「食の安全教室」の開催 5校開催、50名参加 ・市政出前講座「知っておきたい食中毒の話」「身近な植物自然毒の話」 ・3講座実施、29名参加、アンケートで「満足している」「ある程度満足している」で80％以上を得た。	A		継続		
		I－4 (1)	2 5 お茶の美味しい入れ方教室の開催	小学校における総合学習の時間を利用し、お茶の入れ方を学ぶことを通じてお茶に対する味覚をはぐくみ、お茶を中心とした食育を図るとともに、本市基幹産物であるお茶の啓蒙・消費促進を図ります。		●				農業政策課	希望する全ての市内小学校で実施	希望があった小学校で実施 希望があった43校、102教室を実施し、2,835人の児童が受講した。	A		継続		

【評価の基準】

S：指標を100%達成し、かつ期待を上回るような成果があったとき。
A：定量的な指標の場合は指標に対して80%以上達成したとき。定量的な指標以外の場合は指標の内容を実施できたとき。
B：定量的な指標の場合は指標に対して50%以上80%未満達成したとき。定量的な指標以外の場合は指標の内容を一部削除・中止して実施したとき。
C：定量的な指標の場合は指標に対して50%未満達成したとき。定量的な指標以外の場合は事業の未実施、廃止または休止をしたとき。

※事業番号36および39は事業廃止のため欠番

【実施方針】

充実：事業を充実や発展させる予定のもの
継続：事業をそのまま実施する予定のもの
見直し：事業を縮小または方法改善する予定のもの
廃止：事業を廃止する予定のもの

			事業名	事業内容	対象年代					担当課	R 3 年度指標	R3年度実績 (R3年12月末時点)	R3年度実績評価 (R3年度末見込み)	実績及び評価への コメント	R4年度実施方針	実施方針への コメント	その他
					未就 学児	小・中 学生	学生 (小・中除く)	成人	その他								
		I－4 (1)	2 6 自然体験活動における食育活動の推進	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家の利用団体及び主催事業のプログラムの中で「命をいただく活動」として、井川地区で養殖されたアマゴをさばいて、串焼きにしている。また、主催事業の中で、椎茸の菌打ちや、山菜の天ぷらを揚げて食べる事業を行っています。	●	●	●	●		教育総務課	1 4 回	1 3 回 ①主催事業 8 回 230人 市民 ②学校 5 校 484人 小中学生	A	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、主催事業の中止や学校利用が減少したため	継続		
		I－4 (1)	2 7 環境に優しい野外炊飯活動の推進	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家の利用団体及び主催事業参加者に、「食材料」「薪」「水」を大切に使い、野外炊飯を行うエコクッキングの指導を行っています。	●	●	●	●		教育総務課	1 1 回	7 回 ①主催事業 4 回 83人 市民 ②学校 3 校 115人 小中学生	B	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、主催事業の中止や学校利用が減少したため	継続		
		I－4 (1)	2 8 食の安全に関する講座の開催	各生涯学習施設における事業として、食の安心・安全に関する講座を開催します。	●	●	●	●		生涯学習推進課	37施設中10施設で開催	37施設中16施設で開催	S	市民のニーズに合わせ講座数が増加傾向にあり、指標を大きく上回る結果となった。	継続		
		I－4 (2)	2 9 地産地消を学ぶ講座の開催	各生涯学習施設における事業として、地元食材の活用や地域の食文化について理解を深める講座等を開催します。	●	●	●	●		生涯学習推進課	37施設中25施設で開催	37施設中21施設で開催	A		継続		

【評価の基準】

S：指標を100％達成し、かつ期待を上回るような成果があったとき。

A：定量的な指標の場合は指標に対して80％以上達成したとき。定量的な指標以外の場合は指標の内容を実施できたとき。

B：定量的な指標の場合は指標に対して50％以上80％未満達成したとき。定量的な指標以外の場合は指標の内容を一部削除・中止して実施したとき。

C：定量的な指標の場合は指標に対して50％未満達成したとき。定量的な指標以外の場合は事業の未実施、廃止または休止をしたとき。

※事業番号36および39は事業廃止のため欠番

【実施方針】

充実：事業を充実や発展させる予定のもの

継続：事業をそのまま実施する予定のもの

見直し：事業を縮小または方法改善する予定のもの

廃止：事業を廃止する予定のもの

			事業名	事業内容	対象年代					担当課	R 3 年度指標	R3年度実績 (R3年12月末時点)	R3年度実績評価 (R3年度末見込み)	実績及び評価への コメント	R4年度実施方針	実施方針への コメント	その他
					未就 学児	小・中 学生	学生 (小・中除く)	成人	その他								
	生産者、 食品事業者、消費者等の交流活動を推進し、生産と消費が身近で「目に見える地産地消」の推進に努めます	I－4 (2)	3 0 「ZRATTO!しずおか」による情報発信	市民（消費者）の地場産農産物の利用促進を図るため、ホームページ「ZRATTO！しずおか」を利用して安心・安全な地場農産物を購入できる直売所や観光農園等を紹介します。	●	●	●	●		農業政策課	52回	54回	A		継続		
		I－4 (2)	3 1 農業まつりの開催	農産物の紹介や販売を通して生産者と消費者の交流を図るための事業に要する経費に対し助成を行います。	●	●	●	●		農業政策課	年 1 回開催	感染症拡大防止のため単一会場でのイベントを中止し、市内各店舗での分散イベントとWEBでの販売企画を実施した。	A	感染症拡大防止のため単一会場でのイベントを中止したが、市内各店舗での分散イベントとWEBでの販売企画を実施したため、A評価とした	継続		
		I－4 (2)	3 2 しずまえ漁業見学事業の実施	しらす船びき網漁業見学、桜えび漁体験学習、セリの見学、水産加工工場、マグロ冷凍倉庫見学の実施や補助を行います。		●	●	●		水産漁港課	実施無し	コロナによる影響で漁業見学は中止したが、代替として静岡市YouTubeにて新たなしずまえ動画の公開を行った。	A	コロナによる影響で漁業見学は中止したが、Youtubeにて動画を公開し、参加予定数を超える閲覧数となったため、A評価とした。	継続		
		I－4 (2)	3 3 しずまえ新聞の発行	しずまえの漁業や水揚げされる水産物、しずまえ豆知識、魚料理のコツなどを掲載し、市内小中学校へ配布します。		●		●		水産漁港課	年2回、市内小中学校の全児童・生徒約5万人に配布。	6月号、11月号の計2回配布。	A		継続		
		I－4 (2)	3 4 学校給食における地場産物を取り入れた献立の提供	学校給食における地場産物の活用推進を図ります。		●				学校給食課	月 1 回以上	全学校給食施設で月 1 回以上実施	A		継続		

【評価の基準】

S：指標を100%達成し、かつ期待を上回るような成果があったとき。
A：定量的な指標の場合は指標に対して80%以上達成したとき。定量的な指標以外の場合は指標の内容を実施できたとき。
B：定量的な指標の場合は指標に対して50%以上80%未満達成したとき。定量的な指標以外の場合は指標の内容を一部削除・中止して実施したとき。
C：定量的な指標の場合は指標に対して50%未満達成したとき。定量的な指標以外の場合は事業の未実施、廃止または休止をしたとき。

※事業番号36および39は事業廃止のため欠番

【実施方針】

充実：事業を充実や発展させる予定のもの
継続：事業をそのまま実施する予定のもの
見直し：事業を縮小または方法改善する予定のもの
廃止：事業を廃止する予定のもの

			事業名	事業内容	対象年代					担当課	R 3 年度指標	R3年度実績 (R3年12月末時点)	R3年度実績評価 (R3年度末見込み)	実績及び評価への コメント	R4年度実施方針	実施方針への コメント	その他
					未就 学児	小・中 学生	学生 (小・中除く)	成人	その他								
生産、調理、製造、加工段階における合	環境にやさしい農業生産を推進します	Ⅱ－1 (1)	3 5 エコファーマーの推進	環境に配慮した農業生産方式に取り組む農業者を認定します。					●生産者	農業政策課	118人	114人	A		継続		
	食品の調理、製造、加工段階における監視指導を行います	Ⅱ－1 (2)	3 7 学校給食の食材の安全確保	安全な学校給食の実施に資するため、各施設で使用食材及び調理済み食品の定期検査を実施します。					●学校給食施設	学校給食課	年1回以上	全31施設中27施設で年1回以上実施 合計249検体	A	年度内に全学校給食施設で年1回以上実施予定	継続		
		Ⅱ－1 (2)	3 8 市内で調理、製造、加工した食品の製造業者等の監視指導の実施	各食品や施設のリスクをもとに年度ごとに設定された監視指導計画に基づき、市内で食品を取り扱っている施設への立ち入り検査を行います。					●事業者	食品衛生課	監視指導計画に対する実施率90%以上	1047件	A		継続		
		Ⅱ－1 (2)	4 0 こども園の巡回、指導（再掲）	各公立こども園を巡回し、食育事業、給食室内の衛生管理、事務などの支援を行います	●					こども園課	120回	90回	A		継続		
		Ⅱ－1 (2)	4 1 イベント等の情報収集	市内開催の大規模イベント等での飲食店関係出店情報について、庁内各課に情報提供を依頼し、出店に適さない食品が販売されることを防止します。					●イベント主催者	食品衛生課 保健所清水支所	庁内各課へイベント情報の提供を依頼する。	庁内各課へイベント情報の提供を依頼した。	A		継続		
		Ⅱ－1 (2)	4 2 イベント等の指導	市内で行われるイベントについて、開催者に対し提供食品の事前指導、説明会、監視指導を必要に応じて行います。					●イベント主催者	食品衛生課 保健所清水支所	開催者からの相談に対する実施率100%	開催者からの相談に対する実施率100% 105件	A		継続		

【評価の基準】

S：指標を100％達成し、かつ期待を上回るような成果があったとき。
A：定量的な指標の場合は指標に対して80％以上達成したとき。定量的な指標以外の場合は指標の内容を実施できたとき。
B：定量的な指標の場合は指標に対して50％以上80％未満達成したとき。定量的な指標以外の場合は指標の内容を一部削除・中止して実施したとき。
C：定量的な指標の場合は指標に対して50％未満達成したとき。定量的な指標以外の場合は事業の未実施、廃止または休止をしたとき。

※事業番号36および39は事業廃止のため欠番

【実施方針】

充実：事業を充実や発展させる予定のもの
継続：事業をそのまま実施する予定のもの
見直し：事業を縮小または方法改善する予定のもの
廃止：事業を廃止する予定のもの

			事業名	事業内容	対象年代					担当課	R 3 年度指標	R3年度実績 (R3年12月末時点)	R3年度実績評価 (R3年度末見込み)	実績及び評価への コメント	R4年度実施方針	実施方針への コメント	その他
					未就学児	小・中学生	学生 (小・中除く)	成人	その他								
長 の 安 全 確 保 を 強 化 し ま す	食品の検査を行います	Ⅱ－1 (3)	4 3 市内で生産、調理、製造、加工した食品の収去検査の実施	各食品のリスクをもとに年度ごとに設定された計画にもとづき、市内で生産、調理、製造、加工している食品を事業者提供してもらい、環境保健研究所に依頼して細菌あるいは理化学検査を実施します。					●事業者	食品衛生課 環境保健研究所	監視指導計画に対する実施率90％以上	監視指導計画に対する実施率90％以上 356件	A		継続		
	食中毒の未然防止の周知・啓発を行います	Ⅱ－1 (4)	4 4 こども園、保育園給食衛生研修会の開催	私公立こども園、保育園の給食業務担当者を対象に食品衛生に関する研修を行います。	●					こども園課	18回	14回	A		継続		緊急事態宣言のため、内一回の研修は資料配布にて実施。紙面にて回答を得た。
		Ⅱ－1 (4)	4 5 学校給食衛生研修会の開催	学校給食における食中毒の防止、衛生管理の徹底、調理従事者の衛生意識向上を目的に、各施設の衛生責任者を対象とした研修会及び給食従事者を対象とした研修会を開催します。					●学校給食施設調理従事者	学校給食課	2回以上	○学校給食衛生研修会：全学校給食施設で実施 ○衛生マニュアル検討班：3回実施 ○施設視察研修：4回実施	A		継続		
		Ⅱ－1 (4)	4 6 食品等事業者に対する衛生講習会への講師派遣	食品等事業者の希望に応じて講師を派遣し、食中毒予防、衛生管理などをテーマとした講義を行います。					●事業者	食品衛生課	申し込みに応じる実施率90％以上	申し込みに応じる実施率90％以上 12回 442人参加（市内食品関連事業者）	A		継続		

【評価の基準】

S：指標を100%達成し、かつ期待を上回るような成果があったとき。
A：定量的な指標の場合は指標に対して80%以上達成したとき。定量的な指標以外の場合は指標の内容を実施できたとき。
B：定量的な指標の場合は指標に対して50%以上80%未満達成したとき。定量的な指標以外の場合は指標の内容を一部削除・中止して実施したとき。
C：定量的な指標の場合は指標に対して50%未満達成したとき。定量的な指標以外の場合は事業の未実施、廃止または休止をしたとき。

【実施方針】

充実：事業を充実や発展させる予定のもの
継続：事業をそのまま実施する予定のもの
見直し：事業を縮小または方法改善する予定のもの
廃止：事業を廃止する予定のもの

※事業番号36および39は事業廃止のため欠番

			事業名	事業内容	対象年代					担当課	R 3 年度指標	R3年度実績 (R3年12月末時点)	R3年度実績評価 (R3年度末見込み)	実績及び評価への コメント	R4年度実施方針	実施方針への コメント	その他
					未就学児	小・中学生	学生 (小・中除く)	成人	その他								
食の流通、安全確保を強化します	食品の流通、販売段階における監視指導を行います	II－2 (1)	4 7 デパート、スーパーマーケット、流通センター等食品販売施設の監視指導の実施	監視指導計画にもとづき、大型店、スーパー、流通センターなど食品販売施設の監視指導を行います。					●事業者	食品衛生課	監視指導計画に対する実施率9 0 %以上	監視指導計画に対する実施率90%以上 6838件	A	計上方法変更のため昨年度との違いが大きくなっています。	継続		
		II－2 (2)	4 8 輸入食品や広域流通食品等の収去・買い上げ検査の実施	主に中央卸売市場において、輸入食品や広域流通食品を事業者提供してもらい、または買い上げ、細菌あるいは理化学検査を環境保健研究所に依頼して実施します。残留農薬の検査や容器包装に有害物質が含まれていないかどうかの検査も行います。					●事業者	食品衛生課 環境保健研究所	監視指導計画に対する実施率9 0 %以上	監視指導計画に対する実施率90%以上 80検体	A		継続		
流通、販売段階における食の安全確保を強化します	食品の検査を行います	II－2 (2)	4 9 いわゆる健康食品の買い上げ検査の実施	健康食品を買い上げ、医薬成分等が含まれていないかの検査を環境保健研究所に依頼し確認します。			●	●		生活衛生課 環境保健研究所	10検体	10検体	A		継続		

【評価の基準】

S：指標を100％達成し、かつ期待を上回るような成果があったとき。
A：定量的な指標の場合は指標に対して80％以上達成したとき。定量的な指標以外の場合は指標の内容を実施できたとき。
B：定量的な指標の場合は指標に対して50％以上80％未満達成したとき。定量的な指標以外の場合は指標の内容を一部削除・中止して実施したとき。
C：定量的な指標の場合は指標に対して50％未満達成したとき。定量的な指標以外の場合は事業の未実施、廃止または休止をしたとき。

【実施方針】

充実：事業を充実や発展させる予定のもの
継続：事業をそのまま実施する予定のもの
見直し：事業を縮小または方法改善する予定のもの
廃止：事業を廃止する予定のもの

			事業名	事業内容	対象年代					担当課	R 3 年度指標	R3年度実績 (R3年12月末時点)	R3年度実績評価 (R3年度末見込み)	実績及び評価への コメント	R4年度実施方針	実施方針への コメント	その他
					未就 学児	小・中 学生	学生 (小・中除く)	成人	その他								
食 流 の 通、 安 販 全 売 確 段 保 を を 階 強 に 化 お し け ま る	中央卸売 市場にお ける食品 の安全管 理を進め ます	Ⅱ－2 (3)	5 0 卸売市場品質管理の 高度化の推進	・品質管理実施状況を 確認します。 ・品質管理の高度化を 推進するため必要な施 設の改修を進めます ・品質管理の高度化の 推進に伴う衛生措置に 関する講習会を実施し ます。					●市 場内 事業 者	中央卸売市 場	品質管理の高度化 の推進のため、市 場内への鳥類の侵 入防止措置を継続 的に実施するとと もに、経営展望の 品質管理の高度化 に向けた戦略を推 進する。	市場内への鳥類の 侵入防止措置を継 続的に実施した。 （4～12月につ けて、青果棟及び水 産棟天井ブレース 部に設置してある ワイヤーの手直 し、清掃を実 施。）	A		継続		
			5 1 HACCPについての事 業者からの相談受付 と助言	HACCPに沿った衛生 管理の導入について食 品関連事業者への支援 を実施します。					●事 業 者	食品衛生課	相談に応じる対応 1 0 0 %	100％相談に対応 883件	A		継続		
			5 2 食品衛生協会及び各 食品衛生組合加盟業 者との連携	食品衛生協会及び各食 品衛生組合加盟事業者 と連携し、自主衛生管 理の推進を行います。					●食 品 衛 生 協 会 及 び 組 合 加 盟 業 者	食品衛生課	協力事業の実施	バザー等を開催す る主催者に食品衛 生啓発品（ハンド ソープ）を配布し た。	A		継続		
調 査 ・ 検 査 技 術 の 充 実	食品の安全 性確保 対策の基 礎となる 調査、検 査技術の	Ⅱ－4 (1)	5 3 食品衛生検査施設の 業務管理要領（G L P）に則った検査の 実施	規格基準が定められて いる食品及び添加物等 の検査を実施します。					●	環境保健研 究所	食品収去計画に基 づいた検査の完全 実施	・細菌検査 238検体 ・理化学検査 133検体	A		継続		
		Ⅱ－4 (1)	5 4 適切な項目の検討や 食の安全を確認する 調査の実施	適切な項目の検討や食 の安全を確認する調査 を実施します。					●	環境保健研 究所	・新規品目・更新 した機器における 妥当性評価の実施 ・食品等放射性物 質については検査 依頼の完全実施	・妥当性評価 2 品目完了 ・放射性物質 9 検体 * 8月以降、放射性 物質検査受入を停 止	A		継続		

【評価の基準】

S：指標を100％達成し、かつ期待を上回るような成果があったとき。
A：定量的な指標の場合は指標に対して80％以上達成したとき。定量的な指標以外の場合は指標の内容を実施できたとき。
B：定量的な指標の場合は指標に対して50％以上80％未満達成したとき。定量的な指標以外の場合は指標の内容を一部削除・中止して実施したとき。
C：定量的な指標の場合は指標に対して50％未満達成したとき。定量的な指標以外の場合は事業の未実施、廃止または休止をしたとき。

※事業番号36および39は事業廃止のため欠番

【実施方針】

充実：事業を充実や発展させる予定のもの
継続：事業をそのまま実施する予定のもの
見直し：事業を縮小または方法改善する予定のもの
廃止：事業を廃止する予定のもの

			事業名	事業内容	対象年代					担当課	R 3 年度指標	R3年度実績 (R3年12月末時点)	R3年度実績評価 (R3年度末見込み)	実績及び評価への コメント	R4年度実施方針	実施方針への コメント	その他
					未就学児	小・中学生	学生 (小・中除く)	成人	その他								
危機管理体制を充実させます	充実を図ります	II－4 (1)	5 5 食品衛生監視員の技術向上	食品衛生に関する研修会や勉強会へ参加したり、適時情報収集を行ったりすることで、食品衛生監視員の技術向上を図ります。					● 食品衛生監視員	食品衛生課	①国、県等で実施される講習会に参加する ②公衆衛生研究会で発表する	①国、県等で実施される講習会等に17回参加 ②公衆衛生研究会にて1題を発表予定（2月に誌上発表）	A		継続		
	危機が発生した場合の被害拡大防止及び再発防止に努めます	II－5 (1)	5 6 飲食に起因する危害発生時の、詳細で正確なデータの提供	食中毒調査が発生した際の保健所からの依頼に基づく試験検査及び結果を報告します。					●	環境保健研究所	食中毒疑い等の検査依頼について迅速に対応	199検体（微生物）	A		継続		
		II－5 (1)	5 7 食品に関する感染症発生時の拡大防止	腸管出血性大腸菌および細菌性赤痢等の発生届出受理後に患者宅を訪問し、聞き取り調査を実施します。					● 患者	保健予防課	事案発生時に速やかに対応	3類感染症13件、ノロウイルス等7件の調査を実施	A		継続		
		II－5 (1)	5 8 市民からの食品衛生に関する苦情・相談の対応	窓口、電話、電子メールによる食品の苦情・相談について対応します。		●	●	●		食品衛生課 保健所清水支所	苦情・相談に対応100%	100％苦情・相談に対応 3676件	A		継続		